

館山市における公共施設の現状について

1. 館山市の公共施設の維持管理等に関する考え方

⇒建設から30年以上経過した施設が全体の8割

- ・施設規模を維持していくためには、施設の建替えや大規模改修に多額の費用が必要となる。

＜館山市人口＞

- ・令和2年：約4万5千人（20年前比（H12）約6千人減
 - ・65歳以上人口は20年前比（H12）の1.5倍
 - ・保険、医療、福祉など社会保障、社会福祉の予算は増大
 - ・少子化の進展、働き世代の生産年齢人口の減少
- ⇒税収減が想定。将来にわたり厳しい財政状況が予測される。

2. 対 策

- ・将来の人口規模や財政状況を見据え、中・長期的な視点による公共施設の更新や統廃合・長寿命化などを計画的に実施するための取組を進める。

- ① 平成28年度に公共施設の利用状況や今後の在り方等について、「公共施設に関する市民アンケート」実施
- ② 平成29年度に「館山市公共施設等総合管理計画」を策定
- ③ 公共施設の種別ごとに「個別施設計画」を策定

⇒今後の維持管理の方法や存続・廃止・統合などの方向性を示す。

※「市民アンケート結果」と「公共施設等総合管理計画」、「個別施設計画」は館山市のホームページで公開中

3. 現在進んでいる公共施設の再編、廃止、統合等の取組例

○「温水プール」、「老人福祉センター（2か所）」（令和5年度末廃止予定）

○学校施設

- ・「将来の学校の在り方に向けた基本指針」に基づき、児童の減少が進む小学校の再編について、各地区において地域の方や保護者を交え協議中

○子育て支援施設

- ・北条幼稚園を中央保育園と統合し「認定こども園」を整備予定

○地区公民館

- ・築50年ほど経過し、老朽化が著しい
- ⇒今夏より、将来の地区公民館の再編について協議スタート

○廃校施設の利活用

- ・旧富崎小学校校舎、旧神戸小学校

※小学校の再編が進むと、空き校舎が発生。施設の利活用が大きな課題。

さらに建設中の館山中完成 ⇒現館山中（旧第2中学校）が廃校となり、建物や土地の新たな使い道の検討が要。